

東海道五十三次を往く

第8回

三島宿

文化・産業が発展
街道交わる門前町

伊豆国・宮三嶋大社の門前町として栄えた三島は、11番目の宿場。箱根の山を越えた旅人は、その無事を祝って、ここで「山祝い」をしていたという。三島宿は、三嶋大社を起点とする下田街道、甲州道(佐野街道)と交差するため、文化や産業の交流地点になり、世古本陣には、下田に領事館を置いたハリスも訪れた。街には、至る所に富士山の伏流水が流れ、「水の都」として訪れる人に安らぎを与えている。

ついに静岡



三嶋大社
伊豆国の一宮。源頼朝が戦勝を祈願し、三嶋大社大祭の夜に旗揚げに成功したことから、多くの武将に崇敬された。本殿および幣殿、拝殿は重要文化財に、樹齢1200年を越す金木犀は天然記念物に、それぞれ指定されている。
☎055-975-0172
静岡県三島市大宮町2-1-5

おみやげ

福太郎 1箱950円

生命力を宿すという餅と、邪を払うというヨモギをつき込んだ餅。あんの形は烏帽子(えぼし)をかたどったもの。甘さ控えめで上品な味。

福太郎本舗

☎055-981-2900
静岡県三島市大宮町2-1-5
(三嶋大社境内)
☎8時〜17時
☎無休



三嶋大社周辺

三嶋大社前の通りを中心に栄えた三島宿。現在にもぎわいのある商店街には、江戸から続く老舗や蔵造りの建物、看板建築が多く残る。



常夜灯も



三島宿には、樋口本陣と世古本陣があり、門構え、上段の間、控えの間、湯殿、庭がある広大なもので、建物は書院造りだった。下写真は、樋口本陣の表門を移築したという円明寺表門。



愛宕坂周辺(旧東海道踏切)
錦田一里塚を過ぎると、「愛宕坂」に入る。下った先に、東海道本線の踏切がある。その先の今井坂を下ると、三島宿の中心地に辿り着く。

玉井寺一里塚・宝池寺一里塚

江戸から29里(113.9km)を記す玉井寺一里塚は、昔の姿をそのまま残すもの。道を挟んだ向かいに、対となる宝池寺一里塚(下写真)がある。



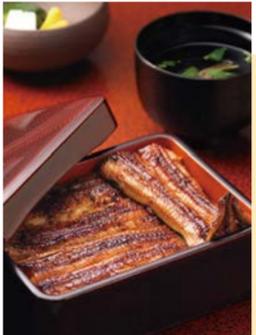
厳しい箱根の山を越え、ついに静岡県に突入。今回は交通の要衝として栄えた三島宿・沼津宿をミスマ編集部がめぐりました。

食

安政3(1856)年創業。守り続けてきた店の味は、「かるみ」。食べ飽きないうまさのことだ。富士の雪解け水を数日間流してうなぎを締め、絶妙なうなぎの使い方とふわりと焼き上げた味は、極上。

桜家

☎055-975-4520
静岡県三島市広小路町13-2
☎11時〜20時(なくなり次第終了)
☎水曜(祝日の場合は営業)



うなぎ重(3枚)4,950円



おいしい〜!



本町通り・高田本陣跡

沼津駅から続く本町通りに、高田本陣跡、中村脇本陣跡、清水本陣跡、間宮本陣跡の碑が並ぶ。



狩野川周辺

江戸時代は、狩野川沿いに東海道が続いていた。遠くには、沼津の街が広がる。



沼津宿

船の往来や漁業で活気あふれた港町
東海道12番目の宿場、沼津は、水野忠友が治めた沼津城の城下町としてにぎわい、狩野川沿いの川廓通りに宿場町が発展。川湊では、江戸や江尻への船の往来が多く、漁業も盛んだったという。現在は、本町通りに3軒の本陣跡、1軒の脇本陣跡が残るが、宿場は大火や戦災などにより荒廃し、当時の面影はほぼ残らない。



三島の恵みをプレゼント!
P.13へ